

# 傷つけない支援のために

## ～虐待的関係の再演を防ぐ～

11/24(金) 18:30～20:30



● 講師：野坂<sup>さちこ</sup>祐子 先生

(大阪大学大学院人間科学研究科教授/公認心理師)

大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター勤務を経て2013年より現所属。主に児童福祉領域や学校現場において、性被害・性問題行動などへの介入実践・研究を行う。主著に『トラウマインフォームドケア：“問題行動”を捉えなおす援助の視点』(2019, 日本評論社)、近著に(共著)『子どもへの性暴力 第2版』『性問題行動のある子どもへの対応：治療教育の現場から』(いずれも 2023, 誠信書房)

私たちは、「うまくいかない」支援をしばしば体験します。虐待を受けて育った難しいケースほど、支援者が問題行動をトラウマの視点で理解していないと、例えば、相手に苛立ったり、行動を変えようと介入し過ぎたり、逆に、自分の無力感から相手を見放したくなるものが起きてしまいます。

「うまくいってる」と思える支援にも、落とし穴はあります。いつのまにか「させる」支援になっていないでしょうか？心理教育が「教え込む」支援や説得になっていないでしょうか？

このように、支援者が無自覚に、相手が受けてきた「支配やネグレクト」といった虐待的な関係を「再演」してしまうことを防ぐためには、何が求められるのでしょうか？

「トラウマインフォームドケア」を深く、分かりやすく語っていただく講演の後には、参加者同士の体験交流も企画しました。共に学び合うために、一人でも多くの方の参加をお待ちします。

●会場：<sup>おうみ</sup>「ピアザ淡海」 3階 大会議室 (<sup>いしやまさかもとせん</sup>京阪石山坂本線 <sup>いしば</sup>「石場」下車 徒歩5分 <sup>びわこホール隣</sup>)

●スケジュール(予定): 講演 18:30～20:00 質疑応答&交流会 20:05～20:30

●参加費：11/25(土)～26(日)「子ども虐待防止学会滋賀大会」参加者は無料です！

〔本研修会のみ参加される方は、大会協力金として1000円の寄付をお願いします〕

●事前申し込み: 不要。直接、会場にお越しください(寄付金も会場でお支払いください)。

●主催: 一般社団法人 滋賀県公認心理師会

(問い合わせ: 奥田由子 [okudayoshiko22@gmail.com](mailto:okudayoshiko22@gmail.com))